

『わたしはおねえさん』

場面・お話の内容

第一場面

すみれちゃん

- ・ 歌を作るのがすき。
- ・ かりんちゃんのおねえさん。
- ・ 二年生

わたしはおねえさん



やさしいおねえさん
元気なおねえさん

ちっちゃなかりんのおねえさん
一年生の子のおねえさん

「おねえさんって、ちよっぴりえらくて
やさしくて、がんばるもので、ああ、二
年生になっててしあわせ。」

『わたしはおねえさん』

場面・お話の内容

第二場面

十月の日曜日の、気もちよく晴れた朝
すみれちゃん

- ・けさもこの歌を歌っています。
- ・えらいおねえさんになって、
- ・なことをしたくなりました。
- ・「えらいおねえさんは、朝のうちに
- ・りっぱ

しゅくだいをするんだわ。」

同じことを おかあさんに言われる
と、あまり いい気もちはしません。
けれど、自分から思ったときは、すご
くいい気もちです。

すみれちゃんには、それがふしぎでし
た。

・「そうだ、コスモスに
お水をやらなくちゃ。」



『わたしはおねえさん』

場面・お話の内容

第三場面

すみれちゃんのへや

・さて、その間に、すみれちゃんのへやでは、ちよつとしたことがおきて

かりんちゃん

・出っぴなしのすみれちゃんのノートに、えんぴつで、何かをかきはじめたのです。

第四場面①

かりんちゃん

・水やりからもどつてくると、かりんちゃんがすみれちゃんのノートに何かかいているさいちゆうでした。

すみれちゃん

・おどろいて、「かりん、何してるの。」



← 「もう、かりんたら、もう。」
半分ぐらい、なきそうでした。
もう半分は、おこりそうでした。

『わたしはおねえさん』

場面・お話の内容

第四場面②

すみれちゃん

・「何よ、これ。」

↓すみれちゃんは、それが何か知
りたかったわけではありません
でした。



← かりんちゃんはまどの外をゆびさ
して、「お花。」と言いました。

← **そこ**には、すみれちゃんが水をやっ
たばかりのコスモスがさいていま
す。
すみれちゃんは、もういちど、ノー
トを見ました。じつと。ずっと。

『わたしはおねえさん』

場面・お話の内容

第五場面

すみれちゃん

・「あはは。」すみれちゃんはわらいだしました。コスモスになんかちつとも見えないぐちゃぐちゃの絵が、かわいく見えてきたのです。

「じゃあ、かりん。こんどはねえねがおべんきょうするから、ちよつとどいてね。」

すみれちゃんは、ふでばこからけしゴムを出して、かりんちゃんがかいた絵をけそうとしました。

けしかけて、でもけすのをやめて、すみれちゃんは、つぎのページをひらきました。

